

【記入例】

第3号様式(第5条第1項第1号)

- ① 炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー
給湯湯沸設備・**乾燥設備**・簡易サウナ設備
一般サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機
火花を生じる設備・放電加工機
- 設置届出書

③ ○○○消防署長様		② 令和○○年○○月○○日	
住所 ○○市△△-□□		④ 届出者氏名 <u>印西太郎</u> (印)	
電話 <u>0476-○○-△△△△</u>			
⑤ 届出区分	新設	変更	廃止
防対象火物	所在地 ⑥ 白井市○○-△△	電話 047-○○○-△△△△	
	名称 株式会社○○商事	主要用途	⑦ 工場
設場所	用途 ⑧ 塗装乾燥室	床面積	⑨ ○○㎡
	構造 ⑩ 鉄骨造	階層	⑪ 地上1階
	設備の種類	⑬ 塗装ブース	
	着工(予定)年月日	⑭ 令和○年○月○日	竣工(予定)年月日 ⑮ 令和○年○月○日
	設備の概要	⑯ 自動車塗装補修の乾燥	
	熱源	種類	使用量
	⑰ 都市ガス		⑱ ○○○○m ³ /h
	保安装置	⑲ 温度制御装置 緊急遮断弁	
取扱い責任者の職氏名	⑲ 株式会社○○商事 所長 印西太郎 電話0476-○○-△△△△		
工事責任者	住所	⑳ 千葉県○○市△△1-2	
	氏名	○○○○株式会社 白井太郎	
※ 受	付	欄	※ 経 過 欄
消防記入欄		消防記入欄	

- 備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事業所の所在地を記入すること。
- 3 階層欄には、屋外に設置する設備にあっては、「屋外」と記入すること。
- 4 設備の種類欄には、鋼鉄溶鉱炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
- 5 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
- 6 熱源の使用量欄には、1日または1時間当りの使用量を記入すること。
- 7 ※印の欄は、記入しないこと。
- 8 当該設備の設計図書を添付すること。

【記入要領】

①	該当設備を○で囲んでください。
②	提出日（郵送日）をご記入ください。
③	宛先欄は、管轄の消防署長をご記入ください。
④	届出者の住所、氏名、連絡先をご記入ください。※押印不要
⑤	該当区分を○で囲んでください。
⑥	建物の住所、建物名称、連絡先をご記入ください。 同一敷地内に複数の建物がある場合は、当該建物の名称をご記入ください。また、テナント工事の場合は、建物名称の後に「(階数とテナント名)」をご記入ください。
⑦	建物の主要用途をご記入ください。（例：飲食店、工場、倉庫など）
⑧	当該設備を設置する場所の用途をご記入ください。（例：ボイラー室、厨房室など）
⑨	当該設備を設置する室の床面積を小数第2位までご記入ください。
⑩	当該設備を設置する場所の構造をご記入ください。（例：木造、鉄骨造など）
⑪	当該設備を設置する場所の階をご記入ください。 （屋外の場合は屋外とご記入ください。）
⑫	当該設備を設置することで必要となる消防用設備等をご記入ください。 （例：消火器、不活性ガス消火設備）
⑬	備考欄を参考にしてご記入ください。
⑭	当該設備の着工、竣工予定年月日をご記入ください。
⑮	当該設備の概要をご記入ください。書き込めない事項は、別紙に記載して添付してください。
⑯	当該設備に使用する燃料・熱源・加工液等の種類をご記入ください。
⑰	火花を生ずる設備及び放電加工機以外の設備にあつては、1時間あたりの使用量（ m^3 、kW、kcal等々）をご記入ください。
⑱	当該設備の保安装置をご記入ください。
⑲	当該設備の取扱い責任者の職、氏名、連絡先をご記入ください。
⑳	工事責任者の住所、氏名をご記入ください。

【その他】

※様式にあつては、条例改正後の様式を使用してください。

※届出書類、内容等に不備がある場合、副本の発送ができないことがありますので、ご提出前に予め書類のご確認をお願いします。